

## 第2期

姫島村人口ビジョン

姫島村まち・ひと・しごと  
創生総合戦略

令和8年4月

姫島村

## も く じ

# 第 1 章 姫島村人口ビジョン

|       |              |   |
|-------|--------------|---|
| 第 1 部 | 基本的な考え方      | 1 |
| 1     | 策定の背景        |   |
| 2     | 人口ビジョンの概要    |   |
| 3     | 対象期間         |   |
| 第 2 部 | 人口の現状分析と将来推計 | 2 |
| 1     | 人口の推移と将来推計人口 |   |
| 2     | 人口の現状分析      |   |
| 3     | 人口の将来推計と分析   |   |
| 4     | 人口の現状分析等のまとめ |   |
| 第 3 部 | 目指すべき将来の方向   | 9 |
| 1     | 人口減少対策の基本的方向 |   |
| 2     | 目指すべき人口の展望   |   |

# 第 2 章 姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略

|       |                             |    |
|-------|-----------------------------|----|
| 第 1 部 | 基本的な考え方                     | 10 |
| 1     | 策定の背景                       |    |
| 2     | 総合戦略の概要                     |    |
| 3     | 対象期間                        |    |
| 第 2 部 | 基本目標と具体的な施策と重要業績評価指標（K P I） | 11 |
|       | 基本目標 I 結婚・出産・子育て・人づくりの推進    | 11 |
| 1     | 婚活の推進                       |    |
| 2     | 母子保健事業の推進                   |    |
| 3     | 医療費の助成                      |    |
| 4     | 保育の充実                       |    |
| 5     | 幼児教育の充実                     |    |
| 6     | 学校教育の充実                     |    |
| 7     | 社会教育の充実                     |    |

|    |  |           |
|----|--|-----------|
| 8  | 男女共同参画社会の推進                                |           |
| 9  | 婦人会活動の充実                                   |           |
| 10 | 高齢者が生きがいをもって暮らせる環境づくり                      |           |
|    | <b>基本目標Ⅱ 水産業や観光、IT等の地域資源を活用した産業の振興、</b>    |           |
|    | <b>雇用の促進</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・              | <b>14</b> |
| 1  | 水産業の振興                                     |           |
| 2  | 産業の振興                                      |           |
| 3  | 雇用の促進                                      |           |
|    | <b>基本目標Ⅲ 安心して暮らせる村づくり</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・ | <b>18</b> |
| 1  | 健康づくりの推進                                   |           |
| 2  | 村民生活の利便性向上                                 |           |
| 3  | フェリーの安定・安全運航                               |           |
| 4  | 社会資本の整備                                    |           |
| 5  | 良質な水道水の安定供給                                |           |
| 6  | 下水道の整備                                     |           |
| 7  | ごみ処理対策の推進                                  |           |
| 8  | 空き缶デポジットシステムの推進                            |           |
| 9  | 消防・防災等安全体制の強化・充実                           |           |
| 10 | 火葬場、斎場の整備                                  |           |
| 11 | 空き家対策                                      |           |
| 12 | 二次交通対策                                     |           |
| 13 | ひとり親家庭に対する支援                               |           |

# 第1章 姫島村人口ビジョン

## 第1部 基本的な考え方

### 1 策定の背景

国の策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」において、人口減少は今後加速度的に進み、特に地方は大都市へ人口流出する「社会減」と、出生率が低下する「自然減」により、現状のまま推移すると地域経済社会の維持が重大な局面を迎えるとされています。

「姫島村人口ビジョン」は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨を尊重しつつ、あわせて策定する「姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、効果的な施策を企画立案するうえでの重要な基礎とするために策定します。

### 2 人口ビジョンの概要

「姫島村人口ビジョン」は、本村における自然減や社会減等の人口の現状を分析し、把握した課題を踏まえ、目指すべき将来の方向を提示します。

### 3 対象期間

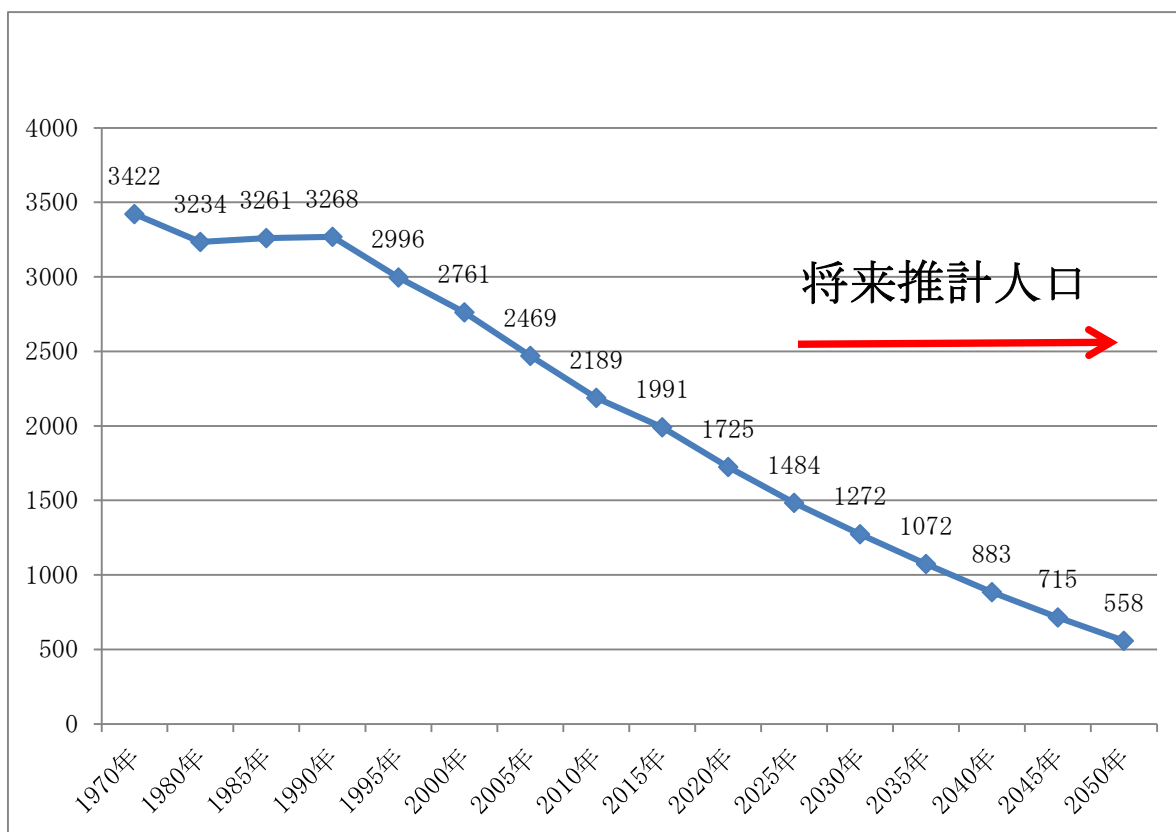
「姫島村人口ビジョン」の対象期間は、令和32年（2050年）までとします。

## 第2部 人口の現状分析と将来推計

### 1 人口の推移と将来推計人口

本村では、令和4年度を初年度として策定した「姫島村第4次総合計画」において、令和13年度の将来人口を1,550人とする現状維持を目標に、村づくりを進めていますが、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5年3月推計）」によると2030年（令和12年）には1,272人、2050年（令和32年）には558人にまで減少するとされています。

#### （1）人口の推移と将来推計人口



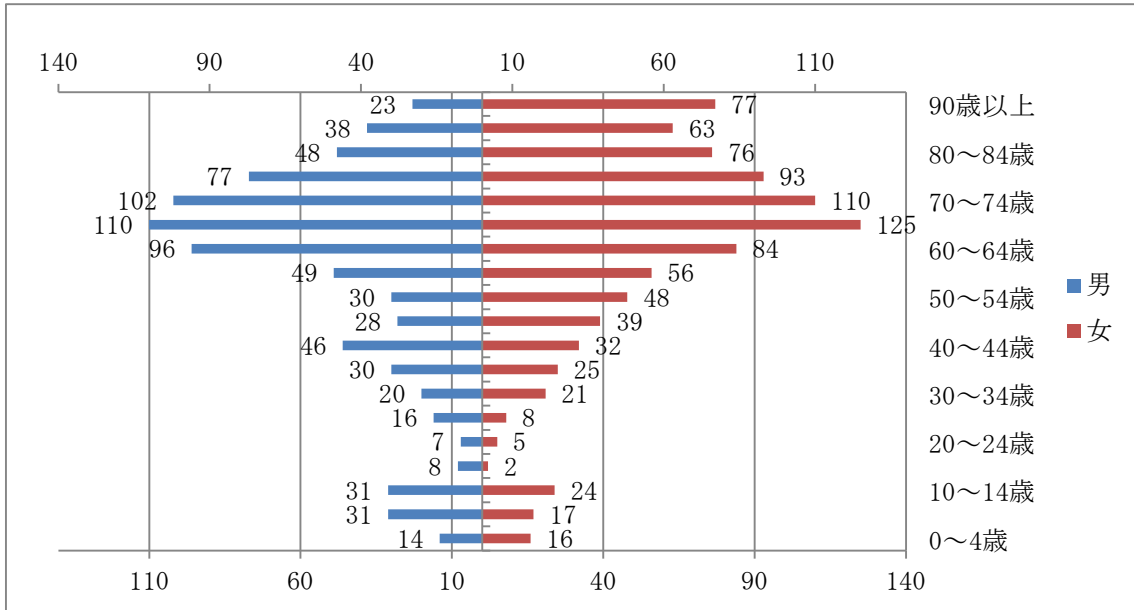
出所：1970年（昭和45年）～2020年（令和2年）国勢調査

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年3月推計）」

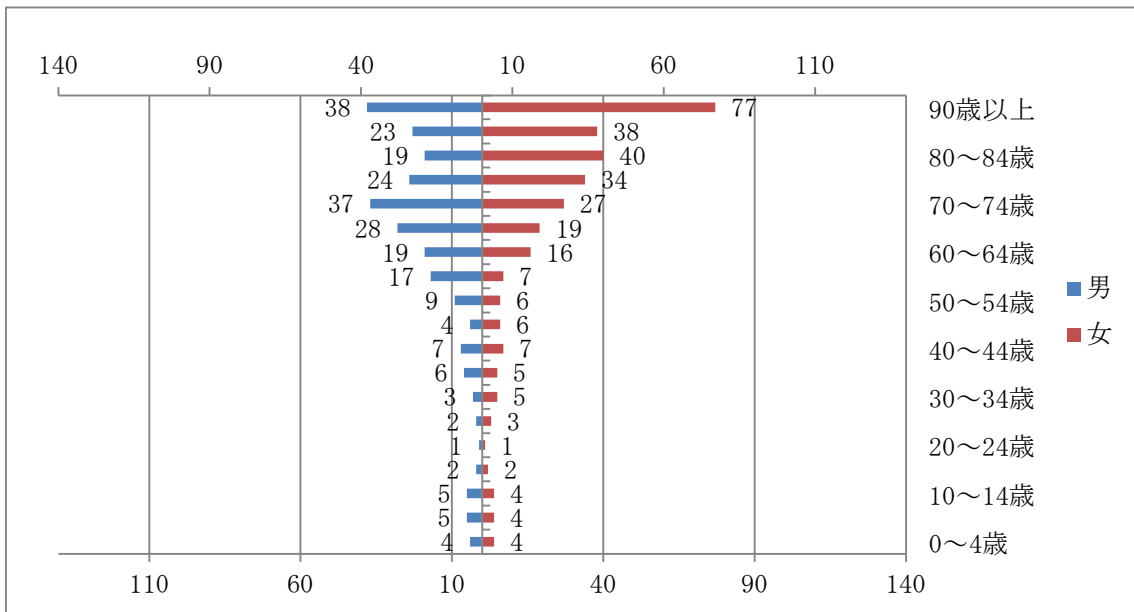
(2) 人口ピラミッド

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5年3月推計）」によると2050年（令和32年）の本村人口は、558人と予測されており、高齢化率は、72%に達するとされています。

●2020年（令和2年）国勢調査



●2050年（令和32年）国立社会保障・人口問題研究所推計人口



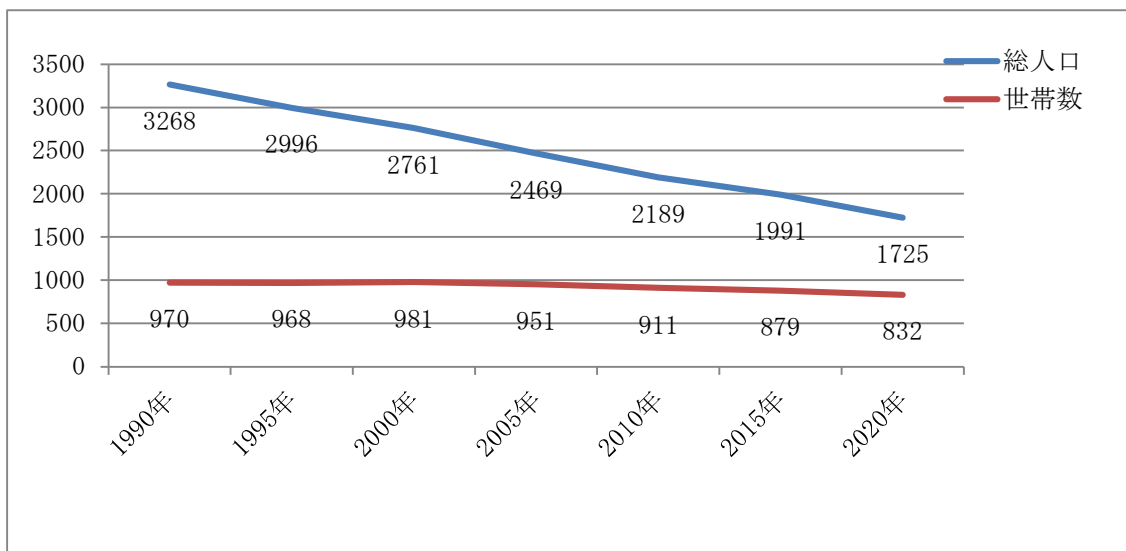
## 2 人口の現状分析

### (1) 人口の推移

下表②のとおり年少人口及び生産年齢人口がともに減少しており、老年人口は増加していることから、親・高齢者を残して若年層、子育て世代が進学・就職等を理由に転出していると思われます。

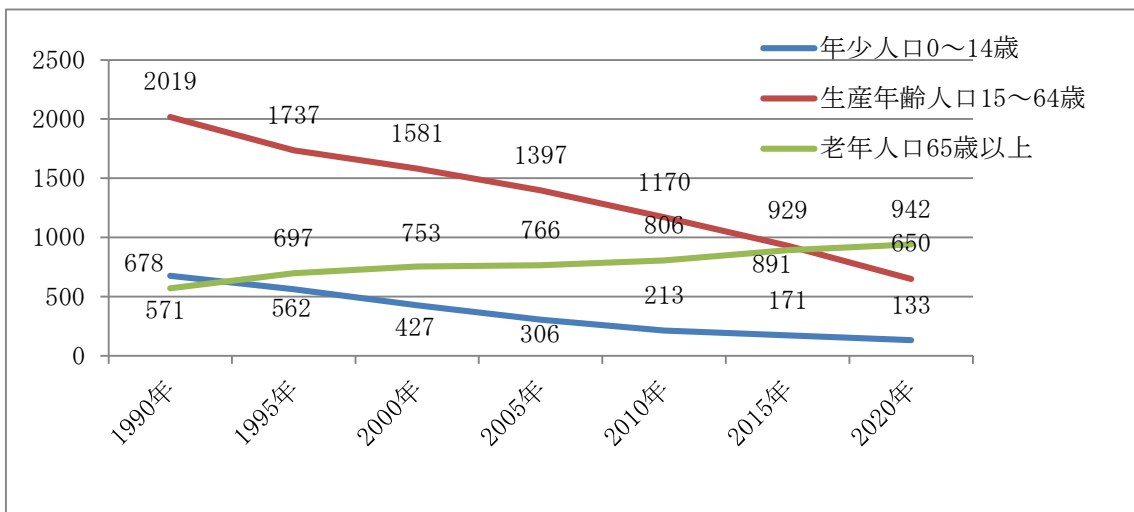
人口の減少と比較し世帯数は緩やかに減少していることから、単身世帯が増加していると思われます。

#### ① 総人口・世帯数推移



出所：1990年（平成2年）～2020年（令和2年）国勢調査

#### ② 人口三区分別の人口推移



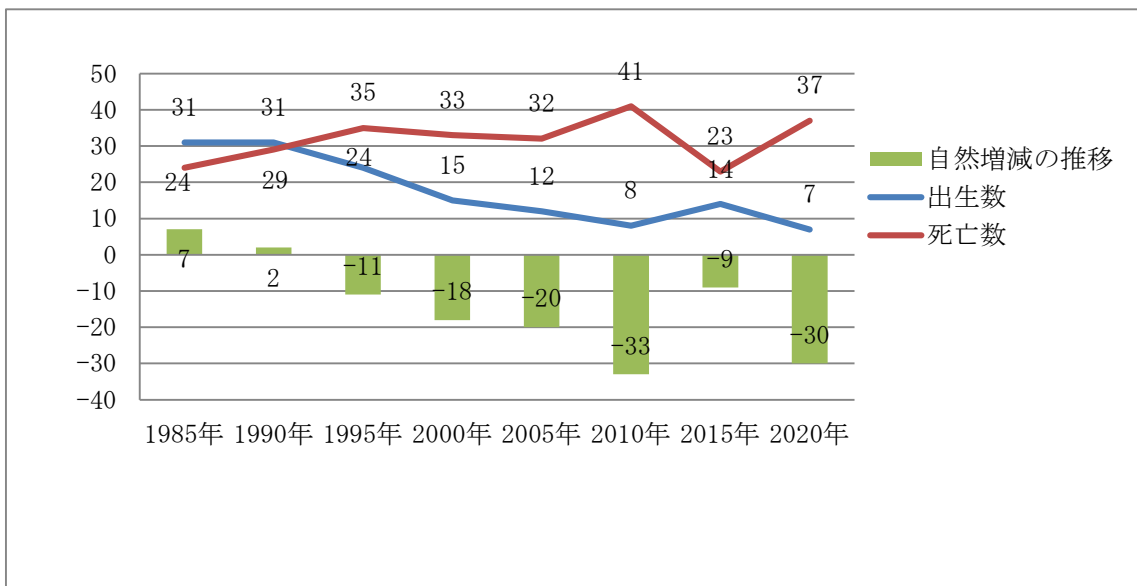
出所：国勢調査

(2) 自然増減に関する分析

1990年（平成2年）代前半のバブル経済期を境に死亡数が出生数を上回っています。

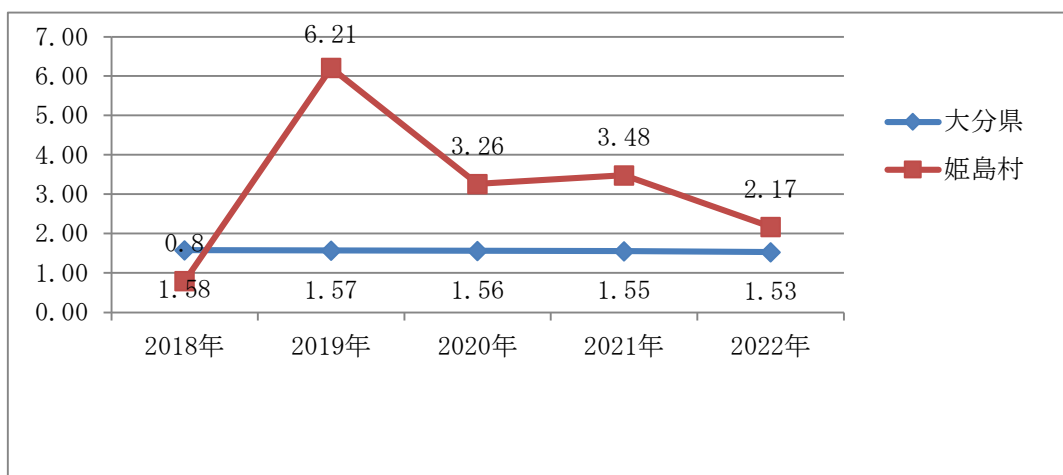
合計特殊出生率は、令和4年までの5年平均で2.17と国、大分県と比して高水準で推移しているものの、今後も死亡数が出生数を上回ることが想定されることから、人口の自然減少に歯止めをかけるのが難しい状況となっています。

① 自然増減の推移



出所：人口動態調査

② 合計特殊出生率の推移



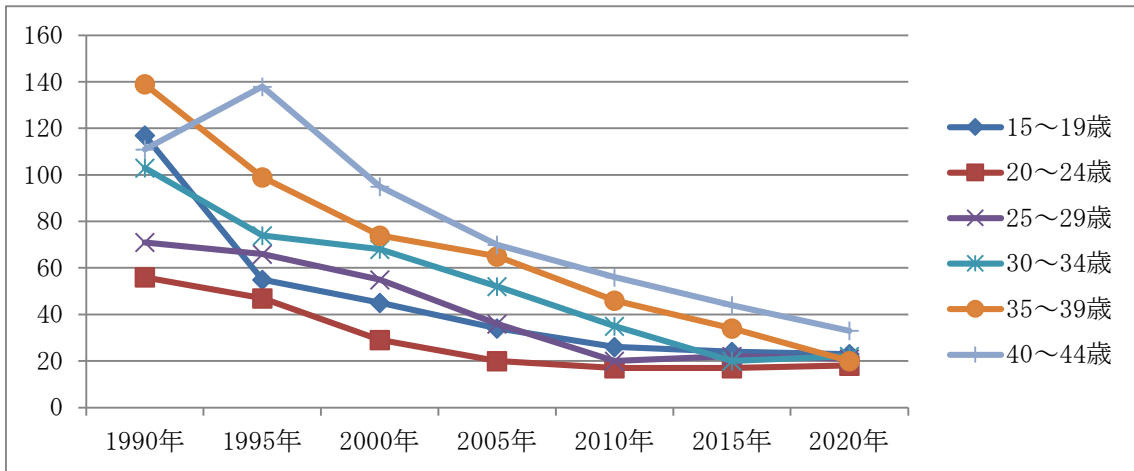
出所：大分県東部保健所

合計特殊出生率とは・・・

一人の女性が、一生の間に生むであろう子どもの数を表し、15歳から49歳の女性の年齢ごとの出生率を合計した数字となります。2.07人が人口維持の目安となります。

ここでは、人口の自然減少が続いている背景から、出産・子育て世代である年齢別の女性の人口動態を分析しています。本村では、15～44歳までの女性人口の減少が続いていることが、急速に少子高齢化が進んでいる要因と考えられます。このことから、進学・就職等による人口流出に歯止めをかけ、出産、子育てをしやすい環境づくりが急務となっています。

### ③ 女性人口の推移（15歳～44歳）

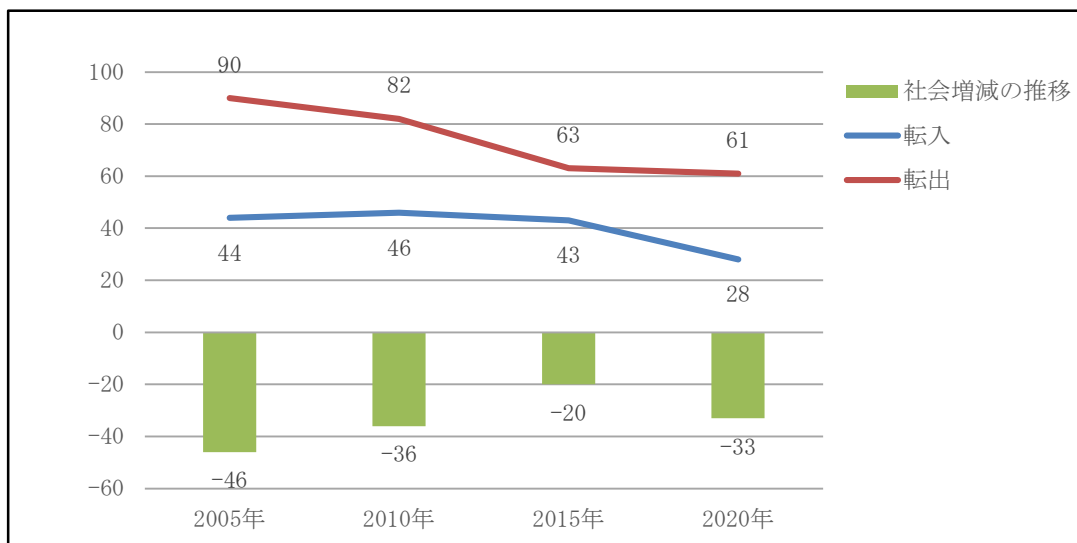


出所：国勢調査

### (3) 社会増減に関する分析

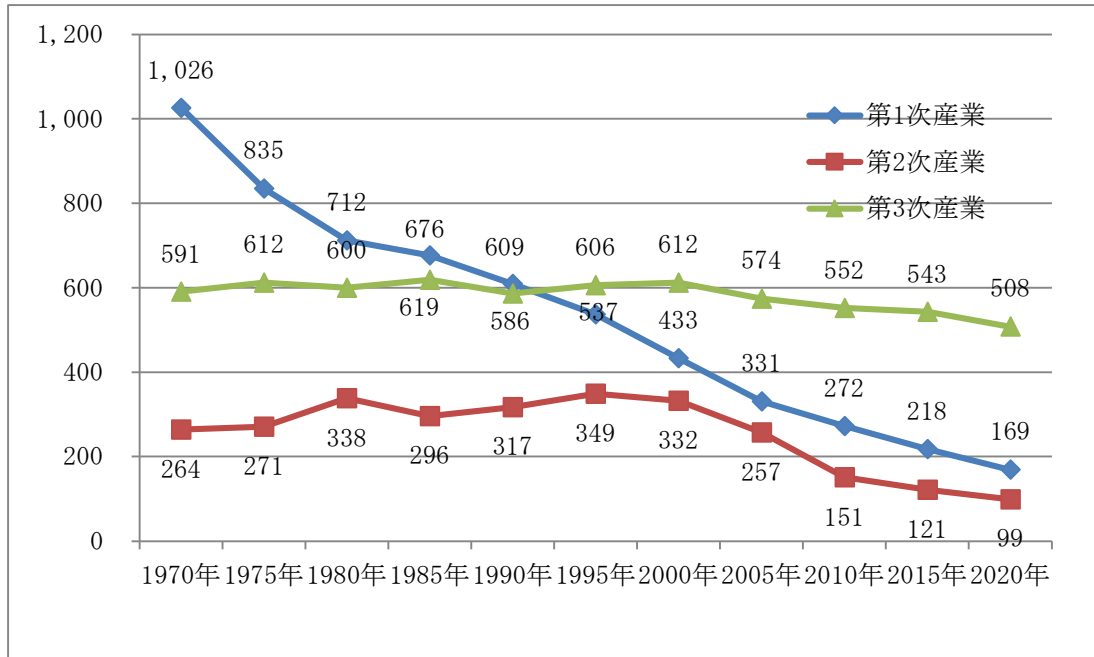
1950年（昭和25年）代から転出者数が増加し、社会減となりました。直近の2020年（令和2年）の転入者数は28人、転出者数は61人で、33人の転出超過となっています。

#### 直近の社会増減の推移



出所：姫島村

(4) 産業別就業者の推移



出所：国勢調査

本村では、1960年（昭和35年）頃から第1次産業就業者が減少し、第2次産業就業者も1995年（平成7年）をピークに減少をはじめ、村外への人口流出が進行してきています。本村の主要産業である漁業の低迷が大きな要因であると思われます。

### 3 人口の将来推計と分析

#### (1) 推計人口

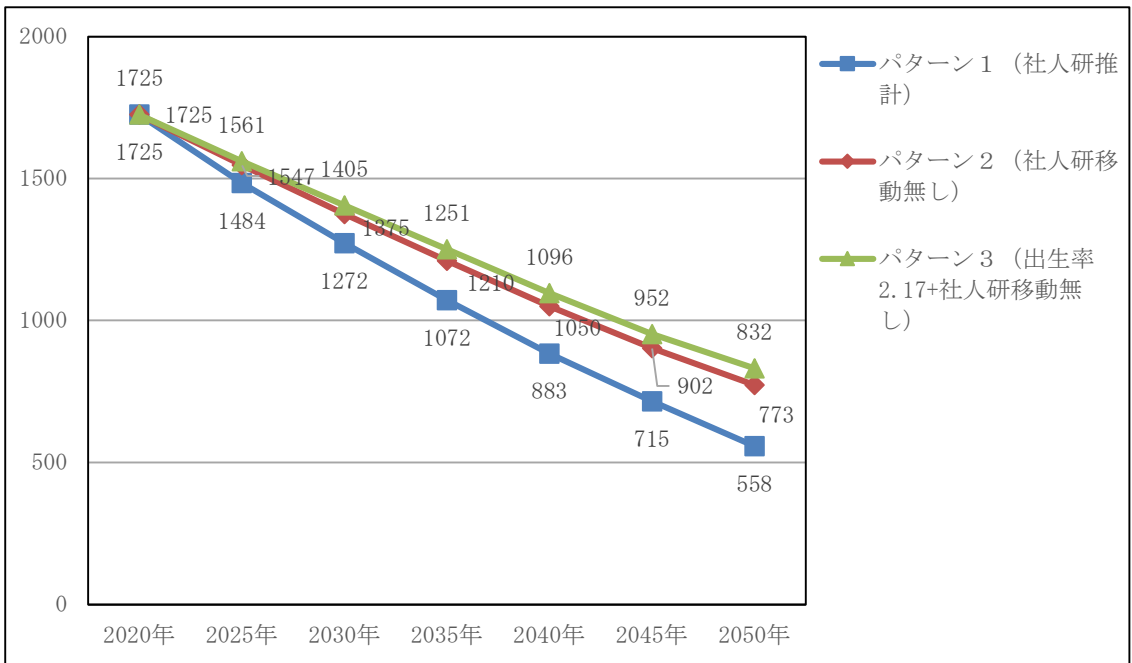
##### ①推計方式

出生・死亡・移動について、一定の仮定を設定した以下の3パターンの推計方式を用いて将来人口を推計します。

| 推計方式             | 出生・死亡に関する仮定                          | 移動に関する仮定                 |
|------------------|--------------------------------------|--------------------------|
| パターン1<br>(現状ベース) | 社人研の推計で2050年（令和32年）までを推計             | 社人研の推計で2050年（令和32年）までを推計 |
| パターン2            | 社人研の推計で2050年（令和32年）までを推計             | 社人研推計（移動ゼロ）で推移           |
| パターン3            | 合計特殊出生率が2050年（令和32年）まで現状の水準（2.17）で仮定 | 社人研推計（移動ゼロ）で推移           |

② 2020年（令和2年）から2050年（令和32年）までの将来人口推計  
「総人口」、「年齢3区分別人口」、「老年人口比率」、「20～39歳女性人口」

| 将来推計パターン | 2020年      | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 |       |
|----------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1        | 総人口        | 1725  | 1484  | 1272  | 1072  | 883   | 715   | 558   |
|          | 年少人口       | 133   | 93    | 64    | 47    | 37    | 31    | 26    |
|          | 生産年齢人口     | 650   | 473   | 378   | 304   | 239   | 177   | 128   |
|          | 老年人口       | 942   | 918   | 830   | 721   | 607   | 507   | 404   |
|          | 老年人口比率     | 54.6% | 61.9% | 65.3% | 67.3% | 68.7% | 70.9% | 72.4% |
|          | 20～39歳女性人口 | 59    | 37    | 29    | 26    | 23    | 19    | 14    |
| 2        | 総人口        | 1725  | 1547  | 1375  | 1210  | 1050  | 902   | 773   |
|          | 年少人口       | 133   | 99    | 72    | 62    | 64    | 68    | 75    |
|          | 生産年齢人口     | 650   | 522   | 463   | 414   | 369   | 313   | 279   |
|          | 老年人口       | 942   | 926   | 840   | 734   | 617   | 521   | 419   |
|          | 老年人口比率     | 54.6% | 59.9% | 61.1% | 60.7% | 58.8% | 57.8% | 54.2% |
|          | 20～39歳女性人口 | 59    | 36    | 39    | 48    | 59    | 67    | 53    |
| 3        | 総人口        | 1725  | 1561  | 1405  | 1251  | 1096  | 952   | 832   |
|          | 年少人口       | 133   | 114   | 98    | 97    | 89    | 87    | 91    |
|          | 生産年齢人口     | 650   | 522   | 465   | 418   | 387   | 342   | 317   |
|          | 老年人口       | 942   | 925   | 842   | 736   | 620   | 523   | 424   |
|          | 老年人口比率     | 54.6% | 59.3% | 59.9% | 58.8% | 56.6% | 54.9% | 51.0% |
|          | 20～39歳女性人口 | 59    | 36    | 39    | 48    | 59    | 75    | 67    |



#### 4 人口の現状分析等のまとめ

##### (1) 人口減少社会の進行

本村の人口は、1955年（昭和30年）の4,178人をピークに減少し、1980年（昭和

55年)から、いったん増加に転じましたが、1990年(平成2年)頃から再び減少を続け、2020年(令和2年)の国勢調査では1725人となっています。主な要因は、1990年(平成2年)頃から本村の主要産業である水産業の低迷が始まったことと、村内の漁業従事者を巡る環境が厳しさを増し、将来世代の形成が期待される若い世代を中心に進学・就職等により村外への人口流出「社会減」が進行しました。

さらに、出産・子育て世代の人口減少が進み、合計特殊出生率は、高いものの、出生数が死亡数を下回る「自然減」が進んでいます。

#### (2) 転出超過による人口減少の進行

本村の社会動態の推移を見ると、大幅な転出超過が続いています。【P.6 直近の社会増減の推移 2020年(令和2年)】

#### (3) 子育て世代の減少による人口減少の進行

若い世代の人口流出により、出産・子育て世代の人口減少も進行しています。【P.6 ③女性人口の推移(15歳~44歳)】 出産・子育て世代の人口流出は、人口自然減の主要因となり、人口社会減と相まって、人口減少が急速に進行した要因となっています。

### 第3部 目指すべき将来の方向

#### 1 人口減少対策の基本的方向

2050年(令和32年)時点で人口1,000人を維持することを目標に、基本的な取組として「結婚・出産・子育て・人づくりの推進」、「水産業や観光、IT等の地域資源を活用した産業の振興、雇用の促進」、「安心して暮らせる村づくり」を進め、地域活性化を図ります。

#### 2 目指すべき人口の展望

本村は、このまま何の対策も取らなかった場合、国立社会保障・人口問題研究所によると2050年(令和32年)までに人口が1/3以下になると推計されています。今後も少子高齢化の進展に伴い、自然減が予想されることから、人口が減少していくことは避けては通れない状況にあります。

村としての活力を将来にわたって維持していくためには、人口の定着や移住者の増につながる施策を積極的に推進するとともに、子育て環境の整備や雇用の場の拡大・創出など魅力と活力にあふれる村づくりに総合的に取り組むことにより、人口の減少をできる限り抑制していく必要があります。

このため、今回策定する人口ビジョン及び総合戦略では、人口減少に歯止めをかける各種施策の立案・推進を図り、具体的目標として2050年(令和32年)で人口1,000人を目指します。

## 第2章 姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 第1部 基本的な考え方と重要目標達成指標（KGI）

#### 1 策定の背景

我が国における人口減少や急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、特に人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、2014年（平成26年）11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。この法律により、市町村は、「まち・ひと・しごと創生」について、地域の実情に応じた総合的かつ計画的に実施するための総合戦略を定め、実施することになりました。

本村においても生産年齢人口の流出や出生率の低下等、人口減少は急激に進んでおり、こうした状況を踏まえ、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域における魅力ある多様な就業の機会の創出に取り組んでいく必要があります。

こうした状況を受け、2014年（平成26年）12月に国が策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、本村の実情を踏まえて、「姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し地方創生の取り組みを行っています。

今後も姫島村の人口は減少していくことが予測されていることから、国、大分県、近隣自治体と連携しながら切れ目のない実効性のある地方創生に向けた施策を推進する必要があります。このため、「第2期姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本村の活性化に取り組めます。

#### 2 総合戦略の概要

「姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、国の「地方創生2.0基本構想」の目指す姿「強い経済」「豊かな生活環境」「新しい日本・楽しい日本」に倣い、「稼げる経済」「生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境の構築」「若者や女性にも選ばれる地方、一人一人が幸せを実感できる地方」となる村づくりに向けて、基本目標、施策の基本的方向及び具体的な施策を盛り込みます。なお、2050年人口1,000人の目標達成に向け、本計画の重要目標達成指標（KGI）は「2031年（令和13年度）人口1,459人」とし、基本目標及び具体的な施策については、それぞれに重要業績評価指標（KPI）を設定し、事業の検証及び改善を行うものとします。

#### 3 対象期間

「姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の対象期間は、姫島村の最上位計画である第4次姫島村総合計画と計画終期を合わせるため、令和8年度から令和13年度までの6ヶ年とします。

## 第2部 基本目標と具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）

### 基本目標 I

#### 結婚・出産・子育て・人づくりの推進

##### <基本的方向>

結婚して子どもを生き育てやすい環境づくりや、学校教育・社会教育の充実による人づくりを推進するとともに、次世代を担う人材育成のため、デジタル技術を活用した学習環境の整備を行います。

##### <数値目標>

###### 婚活の推進による成婚数

令和13年度までに年間で3組を目指します。

###### 学校教育の充実による教育水準

令和13年度までに小中学校児童生徒の学力平均正答率（国語、算数・数学）及び体力（総合評価C以上の児童生徒の割合）が全国平均以上になることを目指します。

###### 高齢者が生きがいをもって暮らせる環境づくり

令和13年度までに老人クラブ活動参加者数300名を目指します。

##### <具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）>

#### 1. 婚活の推進

- 1) 出会いの場の提供、支援等
- 2) 結婚祝金の支給

#### 2. 母子保健事業の推進

- 1) 妊婦健診、妊婦健診通院支援
- 2) 不妊治療に係る費用の助成
- 3) 出産祝金の支給
- 4) デジタルツール等の導入

#### 3. 医療費の助成

- 1) 高校生までの医療費無料化
- 2) 各種予防接種の助成

#### 4. 保育の充実

- 1) 保育所の充実
- 2) 地域子育て支援センターの活用

## 5. 幼児教育の充実

- 1) 教諭の指導力の向上
- 2) 保育所・小学校との連携強化
- 3) 幼稚園預かり保育の実施
- 4) デジタルツール等の導入

## 6. 学校教育の充実

- 1) 確かな学力の定着・向上
  - ・学習規律の確立
  - ・児童、生徒の習熟度に応じた個別指導の充実
  - ・ユネスコスクール加盟を受け、ESD の視点に立った学習の充実  
(ESD の意味：持続可能な開発のための教育)
  - ・小・中一貫型教育（教育課程特例校）の取組、小学校の「外国語科」、小中学校にふるさとの自然や歴史、文化等を学習する「ふるさと科」の推進
  - ・県立美術館と連携した情操教育の推進
  - ・土曜授業の実施
  - ・放課後児童クラブの実施
- 2) 「協育ネットワーク」を活用した総合的な子どもの支援
  - ・かっこ塾（小学校）や水曜日塾・土曜日塾（中学校）の充実
  - ・家庭学習・読書活動の推進
- 3) 心の教育の充実
  - ・道徳教育の推進
  - ・人権教育の推進
  - ・水産教室の実施
  - ・ジオパーク学習の推進
  - ・奉仕・福祉体験学習の推進
- 4) 体力の向上
  - ・地域人材の活用によるスポーツ活動の充実
  - ・食育の推進
  - ・「歯と口の健康教育」の推進
- 5) 時代の変化を見据えた教育の推進
  - ・コンピュータや情報通信ネットワークを活用した情報教育の推進
  - ・外国語教育の充実や外国人との交流の拡大
- 6) 教育環境の整備
  - ・デジタル技術等を活用した ICT 教育等の導入
  - ・通学バスの更新
  - ・教材の充実
  - ・離島留学受け入れ態勢の整備

## 7. 社会教育の充実

- 1) 公民館講座の充実
- 2) 公民館図書室の充実
- 3) 高齢者教室の充実
- 4) 家庭教育の充実
- 5) 人権教育の推進
  - ・人権学習の推進
- 6) 青少年健全育成の推進
  - ・ふるさと学習の実施
  - ・すぐれた芸術・文化に接する機会の提供
  - ・世代間交流の推進
- 7) 体力づくりの推進
  - ・運動公園の利用促進
  - ・軽スポーツセンターの利用促進
  - ・各種スポーツイベントの開催
- 8) 文化財の保護、保存、活用
  - ・姫島の盆踊
  - ・舟引き祭
  - ・各地区の伝統行事（お祭り等）、建造物
  - ・食文化
  - ・瀬戸内海姫島の海村景観
- 9) 青年団等各種団体主催行事の支援

## 8. 男女共同参画社会の推進

## 9. 婦人会活動の充実

## 10. 高齢者が生きがいをもって暮らせる環境づくり

- 1) 老人クラブ活動の推進

【重要業績評価指標（KPI）】

| KPI         |                          | 基準値（基準年度）                                    | 目標値（令和13年度）                    |
|-------------|--------------------------|--|--------------------------------|
| 成婚数         |                          | 2組（令和7年度）                                    | 3組                             |
| 教育水準        | 児童生徒の学力平均正答率（国語）         | 小学校<br>全国平均以下（令和7年度）<br>中学校<br>全国平均以上（令和7年度） | 小学校<br>全国平均以上<br>中学校<br>全国平均以上 |
|             | 児童生徒の学力平均正答率（算数・数学）      | 小学校<br>全国平均以下（令和7年度）<br>中学校<br>全国平均以上（令和7年度） | 小学校<br>全国平均以上<br>中学校<br>全国平均以上 |
|             | 児童生徒の体力（総合評価C以上の児童生徒の割合） | 小中全児童生徒<br>83.1%（令和7年度）                      | 小中全児童生徒<br>全国平均以上              |
| 老人クラブ活動参加者数 |                          | 274名（令和6年度）                                  | 300名                           |

基本目標Ⅱ

水産業や観光、IT等の地域資源を活用した産業の振興、雇用の促進

<基本的方向>

本村の基幹産業である水産業や、観光、IT等の産業振興を図るとともに、デジタル技術と情報通信基盤を活用した特徴ある地域資源を活かした取組みや、Uターン・Iターン促進、活力ある村づくりを推進します。

<数値目標>

**水産業の振興による漁獲高、漁業所得、新規就業者数、加工品売上金額**

令和13年度までに年間漁獲高 468 百万円を目指します。

令和13年度までに漁業所得（1経営体）1,100千円を目指します。

令和13年度までの新規漁業就業者数延べ12名を目指します。

令和13年度までに加工品売上金額 201,500千円を目指します。

**産業の振興による入り込み客数、拍子水温泉利用者数、ジオガイド数**

令和13年度までに年間入り込み客数 48,000名を目指します。

令和13年度までに拍子水温泉の利用者数 17,400名を目指します。

令和13年度までにジオガイド数 10名を目指します。

**雇用の促進による延べ移住者数、創業事業者数、情報通信業就業者数**

令和13年度までの延べ移住者数 18名を目指します。

令和13年度までに創業事業者数 5事業者を目指します。

令和13年度までに情報通信就業者数 30名を目指します。

<具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）>

1. 水産業の振興

1) 沿岸漁業の振興

①資源管理型漁業の推進

- ・種苗放流の推進
- ・漁業規制の強化と啓発活動の推進

②藻場保全の推進

- ・食害生物の除去（ウニ類・魚類）
- ・栄養塩類の供給
- ・岩盤清掃
- ・藻場モニタリング

③漁業所得の向上

- ・加工施設を使った6次産業の推進
  - 水産加工センターの活用
  - 姫島産水産物のPRの推進と販路拡大
- ・姫島戦略産品の出荷支援

④漁場及び漁港の整備と機能保全

2) 車えび等養殖業の推進

①生産量の安定

②加工の推進

③新たな養殖業

3) 新規就業者の育成・確保

①県の補助制度による新規就業者の確保

【重要業績評価指標（K P I）】

| K P I       | 基準値（基準年・年度）        | 目標値（令和13年度）  |
|-------------|--------------------|--------------|
| 漁獲高         | 418 百万円(令和6年)      | 468 百万円      |
| 漁業所得（1 経営体） | 976 千円(令和6年)       | 1,100 千円     |
| 新規漁業就業者数    | 1 名(令和6年)          | 2 名          |
| 加工品売上金額     | 計 179,506 千円(令和6年) | 計 201,500 千円 |
| 車えび養殖株式会社   | 163,730 千円(令和6年)   | 183,500 千円   |
| 漁協          | 15,776 千円(令和6年)    | 18,000 千円    |

## 2. 産業の振興

### 1) イベントの開催による観光の振興

- ① 姫島おさかな祭・姫島車えび祭・姫島盆踊等
- ② 「姫島女将の会」による食のフェアの推進
  - ・ 姫島車えびしゃぶしゃぶフェア
- ③ 特産品の販路拡大と姫島の情報発信

### 2) 地域資源を活かした観光の振興

- ① おおいた姫島ジオパーク活動の推進
  - ・ ジオパーク拠点施設等関連施設の整備
  - ・ ジオガイドの養成
  - ・ アサギマダラ飛来地としての環境づくり
  - ・ ジオパーク学習の充実
- ② 観光施設の充実
- ③ 拍子水温泉の活用
- ④ 姫島海水浴場の利用促進
- ⑤ 体験プログラムの実施
  - ・ 姫島の盆踊、郷土料理、地場産業等の体験

### 3) 農業の振興

- ① 農地の利活用
- ② 耕作放棄地対策
- ③ 換金作物の奨励
- ④ 種苗購入の補助
- ⑤ 姫島戦略産品の出荷支援

#### 【重要業績評価指標（K P I）】

| K P I      | 基準値（基準年・年度）      | 目標値（令和 13 年度） |
|------------|------------------|---------------|
| 観光入込み客数    | 45,519 名(令和 6 年) | 48,000 名      |
| 拍子水温泉の利用者数 | 17,321 名(令和 6 年) | 17,400 名      |
| ジオガイド数     | 7 名(令和 7 年)      | 10 名          |

### 3. 雇用の促進

#### 1) 雇用の場の創出

- ①新たな養殖業の推進
- ②姫島水産加工センターの活用
- ③企業誘致の推進、新たなビジネス機会の創出
  - ・IT企業のサテライトオフィスやテレワーカーの誘致
  - ・地域課題解決に資する多様な企業誘致
  - ・自動予約等によるコワーキングスペースの利便性向上
- ④姫島車えび養殖株式会社の雇用の拡大
- ⑤「ワークシェアリング」の推進
- ⑥地場産業の推進
  - ・デジタル技術導入による水産業、観光業の生産性向上
  - ・地域特産品オンライン販売の拡充や観光情報アプリ等の開発
- ⑦移住・定住の推進
  - ・空き家活用や移住体験事業等による関係人口の創出及び移住・定住の推進
- ⑧新規創業の支援
  - ・創業支援事業等による村内新規創業の推進
- ⑨就業機会の拡大
  - ・村民向けデジタルスキル向上教育メニュー等による就業支援

#### 【重要業績評価指標（K P I）】

| K P I     | 基準値（基準年・年度） | 目標値（令和13年度） |
|-----------|-------------|-------------|
| 延べ移住者数    | 9名（令和6年度）   | 延べ18名       |
| 創業事業者数    | 3事業者（令和6年）  | 5事業者        |
| 情報通信業就業者数 | 13名（令和7年度）  | 30名         |

## 基本目標Ⅲ 安心して暮らせる村づくり

### <基本的方向>

健康づくりと住環境の整備等の推進に加え、地域の安全性向上や利便性向上を目指したデジタルサービスの整備を進めます。

### <数値目標>

健康づくりの推進による1人あたり医療費、介護保険料、平均寿命と健康寿命の差、村民意識調査（DX推進により生活利便性や安全性向上）

令和13年度までに1人あたり医療費の県下18位（医療費が低い）を目指します。

令和13年度まで介護保険料県下18位（保険料が安い）維持を目指します。

令和13年度まで平均寿命と健康寿命の差の短さ県下1位の維持を目指します。

令和13年度村民意識調査（DX推進により生活利便性や安全性向上）有効回答数のうち高評価50%以上

### <具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）>

#### 1. 健康づくりの推進

- 1) 診療所を中心とした地域包括医療・ケアの推進
- 2) 介護予防事業の推進
  - ・生活習慣病予防教室の開催
  - ・元気老人に対するデイサービスの実施
- 3) 保健、医療、介護関係のマンパワーの確保
- 4) 平均寿命と健康寿命の延伸化
  - ・健康促進プログラム事業による村民の健康意識の高揚
- 5) スポーツによる健康づくり
- 6) 安心して快適に暮らせる環境の整備
  - ・デジタル技術を活用した健康管理システムやIoT技術を用いた高齢者見守りサービス等の導入

#### 2. 村民生活の利便性向上

- ・行政手続き等のデジタル化による効率化
- ・村民向けデジタルスキル向上のための教育

#### 3. フェリーの安定・安全運航

- 1) 船舶の安全管理
- 2) 利用者サービスの向上

#### 4. 社会資本の整備

- 1) 港湾施設の機能保全整備、港湾・海岸環境の利活用
- 2) 漁港施設の機能保全整備、海岸保全施設の老朽化対策
- 3) 橋梁の点検及び補修

- 4) トンネルの点検及び補修
- 5) 道路の舗装補修等
- 5. 良質な水道水の安定供給**
  - 1) 施設の維持補修、更新
  - 2) 非常用発電設備の設置
  
- 6. 下水道の整備**
  - 1) 施設の維持補修、更新
  
- 7. ごみ処理対策の推進**
  - 1) 清掃センターの維持補修
  - 2) ごみの減量化の推進
  - 3) ごみのリサイクルの推進
  - 4) 不法投棄防止の啓発
  
- 8. 空き缶デポジットシステムの推進**
  
- 9. 消防・防災等安全体制の強化・充実**
  - 1) 消防・救急体制の充実
  - 2) 地震・津波等防災体制の確立
  - 3) 災害対策の充実・強化
  
- 10. 火葬場、斎場の整備**
  
- 11. 空き家対策**
  - 1) 特定空き家の処理
  - 2) 利活用の推進
  
- 12. 二次交通対策**
  - 1) コミュニティバス等の運行
  - 2) レンタカー等レンタル事業の支援
  
- 13. ひとり親家庭に対する支援**
  - 1) 生活安定のための支援
  - 2) 雇用の場の提供

【重要業績評価指標（K P I）】

| K P I                        | 基準値（基準年度）                                 | 目標値（令和 13 年度）                  |
|------------------------------|---|--------------------------------|
| 1 人あたり医療費<br>（国保ベース）         | 県下 6 位（令和 6 年度）<br>（1 人あたり 474 千円）        | 県下 18 位                        |
| 1 人あたり医療費<br>（後期高齢者ベース）      | 県下 18 位（令和 6 年度）<br>（1 人あたり 785 千円）       | 県下 18 位                        |
| 介護保険料                        | 県下 18 位（令和 7 年度）<br>（1 人あたり 4,750 円）      | 県下 18 位                        |
| 平均寿命と健康寿命の差                  | 県下 1 位（令和 6 年度）<br>男性 0.62 歳<br>女性 2.55 歳 | 県下 1 位<br>男性 0.5 歳<br>女性 1.5 歳 |
| 村民意識調査（D X 推進により生活利便性や安全性向上） | —   | 有効回答数のうち<br>高評価 50%以上          |